

【資料】多賀城図書館の概要

(東日本大震災調査特別委員会(3/15)への市教委提出資料より)

1. 建物の概要

- (1)敷地面積 4,052.00㎡
(2)延床面積 7,013.75㎡
(3)専用面積(図書館部分) 3,342.30㎡
(4)共有面積 1,038.51㎡ (持分比率62%相当)

2. 財産等取得費及び管理運営費

- (1)財産取得 1,828,637千円
(2)図書館システム構築業務 107,840千円
(3)その他の経費(備品等) 5,176千円(H27予算)
(4)指定管理料 270,494千円(H28予算)
(5)駅北ビルA棟管理組合負担金 37,325千円(H28予算)

3. 図書館(本館)の概要

- (1)開館時間 午前9時から 午後9時30分まで
(2)休館日 年中無休
(3)蔵書数 22万冊(開館時)
(4)収納可能冊数 35万冊(開架 27.5万冊、閉架書庫7.5万冊)
(5)座席数(図書館299席、共用部28席)
ア 閲覧席 203席
イ 学習・ワークスペース 84席
ウ キッズテラス 12席
エ 共用エリア 28席
(6)フロアコンセプトに基づく資料の配架(オリジナルジャンル)

資料は、ブラウジング型でより利用者の「発見」を重視した独自の分類法で配架しています。

「料理」「旅行」など、分類される資料のイメージがわかりやすい「言葉」で資料を分類することで利用者の利便性を向上させ、さらに、従来の分類では別々の

場所に配置されていた資料を同じ書棚に配置させることで、新たな発見、様々な本との出会いを可能とする配架方法を採用しました。

(7)オリジナルジャンル分類
オリジナル分類では大ジャンルを25に分類しています。また、図書管理用分類として4分類(雑誌、コミック、洋書、AV資料)を加え、全29の分類で資料全体を管理しています。

4. 運営体制

- (1)指定管理者 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
(2)職員体制(65名 計画人数)
ア 指定管理業務に携わる職員数
・社員5名
・契約社員20名
・アルバイト40名
イ うち司書の人数 37名(学校図書館派遣司書10名を含む)

5. 特徴的な取組

- (1)フロアコンセプトに基づく館内の空間創出
(2)フロア担当司書の配置
(3)キッズライブラリーの充実(読み聞かせコーナー、大型モニター設置、キッズテラス、その他便益施設等)
(4)自動貸出機設置(5台、うち1台はキッズライブラリー)
(5)読書通帳機設置(2台、うち1台はキッズライブラリー)
(6)デジタルサイネージ設置(電子掲示板 12台)
(7)検索機(設置型16台、貸出型14台)
(8)電源付き座席(17席)設置
(9)Wi-Fi(無線LANを利用したインターネット接続サービス設置)
(10)旧図書館タイルアート、読書三到の掲示 (以上)

「多賀城市日本共産党後援会」からのお知らせ

2016 4.17 さくら祭り

日時: 4月17日(日) 午前11時より

場所: 留ヶ谷集会所

詳細は後日お知らせいたします。

戦争か平和か! 自民・公明 vs 5野党+国民運動

野党の共同の力で 戦争法廃止! 安倍政権打倒!

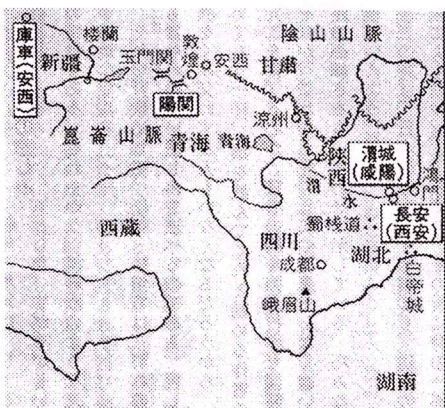
戦争法廃止と立憲主義の回復 暮らしや復興をどう前進させるか お話しします

日本共産党 演説会

5月15日(日) 午後2時~ 仙台市国際センター 大ホール



幹事 衆院議員・政策委員会副責任者 荒井 亮



安(現西安)の北西30キロほどの咸陽(渭城は別名)。唐代には西へ赴任するものをこゝまで見送る慣習があった。王維は宿で遅くまで送別の宴をしたことだろう。中国は埃っぽい。なにせ黄砂が日本まで飛来する。だが翌朝、咸陽に雨が降った。雨は旅館の屋根、ほとりの芽吹き始めた柳の埃を洗い落とし青々とし、清々しい朝を迎えた。王維は元二に呼びかけた。「いよいよ別れだ。さあ、もう一杯酒を飲みたまえ。なにしろ西の陽関を出たら、もう、君の友人はいないのだから...」

「陽関を出でなば故人無からん」

多賀城に縁が無いとは言えない。混乱の今こそ新羅侵攻を考えたわけである。玄宗は756年6月、長安を捨て西へ逃げたが、側近の王維は取り残された。口がきけないふりをして、見破られ、安禄山の配下として働くことになった。後に逆賊に従ったと殺されそうになったが、いやいやであることが証明され助けられた。なので、杜甫とともに王維も多賀城に縁が無いとは言えない。

761年暮れに百済王敬福(南海道)、吉備真備(西海道)とともに押命した臨時の役職で、船393隻、兵士・子弟・水手5万8千人を徴発・訓練をし新羅への侵攻準備が任務であった。なぜ新羅侵攻か? 755年の暮、唐で安禄山が蜂起し9年間内乱状態となった(安史の乱)。後ろ盾の唐

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、春分後すっかり暖かくなり、沈丁花も終日香るようになった。早や4月。進学、就職、転職、退職...と、この時期は別れと出会いの季節でもある。送別の漢詩の代表作は王維(699~761)の「送元二使安西」(元二の安西に使用するを送る)と題する次の七言絶句。「渭城朝雨浥輕塵/客舍青青柳色新/勸君更尽一杯酒/西出陽関無故人」。読み下しは以下のとおり。「渭城の朝雨、輕塵を浥し/客舎青青、柳色新たり/君に勸む更、尽くせ一杯の酒/西のかた陽関を出でなば故人無からん」。リズムが良く情景も鮮明。好きな詩である。「元二」は、兄弟・従兄弟のうち年齢順(排行)で二番目という意味。義経を源九郎と呼ぶのと同じ。友人である元さんちの二番目が、西の守りである安西都護府に赴任することになった。こゝは長

多賀城歴史歳時記